

平成22年第1回潟上市議会定例会会議録（4日目）

○開 議 平成22年3月10日 午前10:00

○閉 会 午前10:39

○出席議員（20名）

1 番 中 川 光 博	2 番 大 谷 貞 廣	3 番 児 玉 春 雄
4 番 藤 原 幸 作	5 番 菅 原 理 恵 子	6 番 澤 井 昭 二 郎
7 番 菅 原 久 和	8 番 伊 藤 栄 悦	9 番 戸 田 俊 樹
10 番 佐 藤 義 久	11 番 小 林 悟	12 番 岡 田 曙
13 番 佐 藤 昇	14 番 藤 原 典 男	15 番 西 村 武
16 番 鈴 木 斌 次 郎	17 番 堀 井 克 見	18 番 藤 原 幸 雄
19 番 佐々木 嘉 一	20 番 千 田 正 英	

○欠席議員（なし）

○説明のための出席者

市 長 石 川 光 男	副 市 長 鑑 利 行
教 育 長 肥 田 野 耕 二	総 務 部 長 伊 藤 賢 志
会 計 管 理 者 門 間 鋼 悦	産 業 建 設 部 長 山 口 義 光
水 道 局 長 澤 井 昭	教 育 次 長 鈴 木 公 悦
市 民 生 活 部 長 宮 田 隆 悦	福 祉 保 健 部 長 小 林 健 一
総 務 課 長 児 玉 俊 幸	企 画 政 策 課 長 鈴 木 司
活 性 化 推 進 室 長 関 谷 良 広	財 政 課 長 幸 村 公 明
税 務 課 長 川 上 護	収 納 課 長 菅 原 龍 太 郎
市 民 課 長 鈴 木 利 美	生 活 環 境 課 長 近 藤 進
総 合 窓 口 セ ン タ ー 長 川 上 秀 佐 男	追 分 出 張 所 長 三 浦 喜 博
社 会 福 祉 課 長 山 平 重 男	高 齢 福 祉 課 長 伊 藤 律 子
健 康 推 進 課 長 伊 藤 正 吉	産 業 課 長 伊 藤 清 孝
都 市 建 設 課 長 藤 原 貞 雄	下 水 道 課 長 三 浦 永 寿
総 務 学 事 課 長 鎌 田 雅 樹	幼 児 教 育 課 長 根 一

生涯学習課長	瀬下三男	スポーツ振興課長	菅原徳志
農業委員会事務局長	田仲茂隆	選挙管理委員会事務局長・ 監査委員事務局長	佐々木博信

○議会事務局職員出席者

議会事務局長	伊藤正	議会事務局次長	門間善一郎
--------	-----	---------	-------

平成 22 年第 1 回 潟上市議会定例会日程表（第 4 号）

平成 22 年 3 月 10 日（4 日目）午前 10 時開議

会議並びに議事日程

議事日程の報告

日程第 1 諸般の報告

日程第 2 総括質疑

1. 議案第 1 号 潟上市公民館条例の一部を改正する条例（案）について
2. 議案第 2 号 潟上市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例（案）について
3. 議案第 3 号 潟上市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例（案）について
4. 議案第 4 号 潟上市水道事業給水条例の一部を改正する条例（案）について
5. 議案第 5 号 潟上市自治会館設置条例の一部を改正する条例（案）について
6. 議案第 6 号 平成 21 年度潟上市一般会計補正予算（第 7 号）（案）について
7. 議案第 7 号 平成 21 年度潟上市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）（案）について
8. 議案第 8 号 平成 21 年度潟上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）（案）について
9. 議案第 9 号 平成 21 年度潟上市介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）（案）について
10. 議案第 10 号 平成 21 年度潟上市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）（案）について
11. 議案第 11 号 平成 21 年度潟上市下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）（案）について

12. 議案第12号 平成21年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)(案)について
13. 議案第13号 平成21年度潟上市豊川財産区特別会計補正予算(第1号)(案)について
14. 議案第14号 平成21年度潟上市下虻川財産区特別会計補正予算(第1号)(案)について
15. 議案第15号 平成21年度潟上市和田妹川財産区特別会計補正予算(第1号)(案)について
16. 議案第16号 平成21年度潟上市飯塚財産区特別会計補正予算(第1号)(案)について
17. 議案第17号 平成21年度潟上市水道事業会計補正予算(第4号)(案)について
18. 議案第18号 平成22年度潟上市農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて
19. 議案第19号 平成22年度潟上市下水道事業特別会計への繰り入れについて
20. 議案第20号 平成22年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計への繰り入れについて
21. 議案第21号 平成22年度潟上市一般会計予算(案)について
22. 議案第22号 平成22年度潟上市国民健康保険事業特別会計予算(案)について
23. 議案第23号 平成22年度潟上市老人保健特別会計予算(案)について
24. 議案第24号 平成22年度潟上市後期高齢者医療特別会計予算(案)について
25. 議案第25号 平成22年度潟上市介護保険事業特別会計予算(案)について
26. 議案第26号 平成22年度潟上市有線放送事業特別会計予算(案)について

- 27. 議案第27号 平成22年度潟上市農業集落排水事業特別会計予算
(案)について
- 28. 議案第28号 平成22年度潟上市下水道事業特別会計予算(案)につ
いて
- 29. 議案第29号 平成22年度潟上市合併処理浄化槽事業特別会計予算
(案)について
- 30. 議案第30号 平成22年度潟上市豊川財産区特別会計予算(案)につ
いて
- 31. 議案第31号 平成22年度潟上市下虻川財産区特別会計予算(案)に
ついて
- 32. 議案第32号 平成22年度潟上市和田妹川財産区特別会計予算(案)
について
- 33. 議案第33号 平成22年度潟上市飯塚財産区特別会計予算(案)につ
いて
- 34. 議案第34号 平成22年度潟上市土地取得事業特別会計予算(案)に
ついて
- 35. 議案第35号 平成22年度潟上市水道事業会計予算(案)について
- 36. 議案第36号 市道路線の認定及び変更について

日程第 3 提出議案委員会付託(付託表のとおり)

午前10時00分 開議

○議長（千田正英） おはようございます。

ただいまの出席議員は19名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成22年第1回潟上市議会定例会を再開致します。

なお、18番藤原幸雄議員より遅れるとの連絡が入っております。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

【日程第1、諸般の報告】

○議長（千田正英） 日程第1、議会運営委員長より報告を行います。9番戸田議会運営委員長。

【議会運営委員会の報告】

○議会運営委員長（戸田俊樹） おはようございます。議会運営委員会の報告を致します。

議会運営委員会は、3月8日に委員、正副議長の出席のもとで開催しております。

総括質疑について申し上げます。

総括質疑については3名の通告者がありました。

抽選の結果、1番めに19番佐々木嘉一議員、2番めに14番藤原典男議員、3番めに15番西村 武議員とします。

なお、総括質疑のあり方については、今後、議会運営委員会で協議することとしておりますので、宜しくお願い致します。

常任委員会の議案付託について申し上げます。

議案第21号、平成22年度一般会計予算（案）のうち、歳入の3款民生費6項少子化対策事業費については目ごとに所管の委員会へ付託することとし、1目を社会厚生常任委員会、2目および3目を総務文教常任委員会へ付託することとします。また、8款土木費4項都市計画費4目フットボールセンター整備事業費については総務文教常任委員会へ付託することとします。

以上、議会運営委員会の報告と致します。

○議長（千田正英） これで議会運営委員長からの報告を終わります。

【日程第2、総括質疑】

○議長（千田正英） 日程第2、これより提出議案に対する総括質疑を行います。

議案第1号から議案第36号までの36件を一括議題として質疑を行います。

通告者は3名であります。本日の発言は、19番佐々木嘉一議員、14番藤原典男議員、15番西村 武議員の順に行います。

なお、総括質疑の時間は答弁を含めて15分とし、発言は最初は発言席において、再質疑からは自分の席にてお願いします。

19番佐々木嘉一議員の質疑を許します。19番佐々木嘉一議員。

○19番（佐々木嘉一） 皆さんおはようございます。19番佐々木であります。

総括質疑を行います。議案第21号の平成22年度潟上市一般会計予算について質問致します。

常任委員会に付託となっておりますが、その前に2款の総務費1項総務管理費の16目の地域再生事業についてお伺い致します。

一般会計2款1項16目の地域再生事業についてであります。先般、予算内示の折にも説明をいただきました。以下について質問致します。

まず全体事業費であります。事業年度としては平成21年度から平成23年度まで3か年事業になるようではありますが、平成21年度は現計予算額9,620万4,000円、平成22年度当初予算額が6億3,676万2,000円あります。合わせて7億3,296万6,000円ありますが、23年度の予定はいくらになるでしょうか。そして全体の予定事業費としてどれくらいになる見通しでしょうか、お知らせ願います。

先般、予算内示においても当該事業の概略については関連工事費位置図として説明がりましたが、道の駅の機能はどのようになりますか。また、現在、おみやげ店を営んでおります現地法人の株式会社ドリームショップくらかけは、今回の再生事業においてはどのような位置づけになりますかお伺い致します。

また、最近、国の補助事業のあり方も変わってきております。全体事業費のうち補助対象事業費という額はわかりませんが、補助対象事業費および単独事業費はそれぞれ幾らでしょうか。これらの事業の財源内訳はどのように予定されておりますか。起債の内訳もお知らせください。

全体事業費の内訳であります。補助・単独合わせて工事請負費、備品購入費、委託料、人件費等事務費を区分した内訳および各費目の内訳について説明をいただきたいと存じます。予算内容によりますと、報償費、旅費、委託料というソフト事業はどのような内容のものでしょうか。施策の成果の予定としてはどのような成果を期待しているの

かお伺い致します。

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業や地域活性化事業などの事業実施には、ご覧のとおり目別に各所管に予算化しております。そこで問題となるのはそれぞれ考えられることではありますが、それぞれの所管にはオールマイティな専門の技術職員がいないのではないかと思います。そうした点について問題はないかお伺い致します。

また、こうしたビッグプロジェクトについては市総合発展計画の位置づけはどのようにされたでしょうか。通告はしておりませんが、当該施設を今後条例化する場合がありますが、潟上市都市公園条例との関係についてはどのように取り扱うのかお知らせください。

以上で質問を終わります。宜しくお願いします。

○議長（千田正英） 当局より答弁を求めます。関谷活性化推進室長。

○活性化推進室長（関谷良広） おはようございます。

それでは、19番佐々木嘉一議員の総括質疑の地域再生事業についてお答え致します。

23年度の予定はいくらかということですが、地域再生事業の平成23年度予定事業費は、市民農園整備事業およびソフト事業を含めまして約1億2,400万円を予定しております。平成21年から3か年で約7億2,900万円の予定でございます。これは人件費を含んでおりませんので、純然たる地域再生にかかわる事業費でございます。

次に、道の駅の機能についてでございますけれども、大型トイレの改修など、お客さんが快適に利用できる環境を整備します。また、新たに交流サロンを建築し、来場者が気軽に休息できるスペースを設けるとともに、道路情報など観光案内につきましては産直センター（仮称）のスカイタワーへ抜ける交流ロビーに設けることで、これまで以上に情報発信できるのではないかと考えております。

次に、株式会社ドリームショップくらかけについてでございますけれども、ドリームショップを含めた既存店の取り扱いにつきましては、現在行われております運営企画部会で検討中であり、現在の既存店との協議も現在行っております。まだはっきりしたことが決まっておりません。

次に、平成22年度の地域再生事業の事業費、財源内訳、起債内容についてでありますけれども、補助対象事業費がソフト事業、事務費を含めて4億2,900万5,000円、単独事業費が1億5,280万円で、全体事業費が5億8,180万5,000円であります。財源内訳としましては、国庫補助金が補助率2分の1で2億1,450万1,000円、起債は合併特例債を予

定しております。3億3,390万円です。一般財源としまして3,340万4,000円です。

次に、全体事業費の内訳についてでありますけれども、補助事業の工事請負費は施設本体工事と外構工事で3億7,000万円を予定しております。単独事業の工事請負費は、広場駐車場整備工事、旧レストラン解体工事、スカイタワーの1階改修工事、遊び広場の整備工事、公園北側の道路拡幅工事、案内看板設置工事で合わせて1億4,600万円を予定しております。

補助事業の備品購入費ですけれども、レジカウンターなど造作家具備品および加工施設の機械器具備品として2,200万円の計上しております。

農産物販コーナーにおきましての補助対象とならない単独事業の備品購入につきましては、今後の各部会で検討することとしておりまして、補正予算への計上を考えておりますので宜しくお願ひしたいと思います。

委託料でございますけれども、補助事業の工事管理委託料と、それから運営システム構築委託料として1,650万円です。単独事業にかかわる実施設計、工事管理委託料で680万円を計上しております。

補助対象事務費は、事業費の2.1%以内が対象となりまして863万8,000円で、人件費の一部、それから需用費、消耗品等の需用費などを対象としております。

次に、ソフト事業について申し上げます。

報酬につきましては活性化推進協議会、それから運営企画部会、活性化部会、それから資源活用部会の部会の委員の報酬でございます。

報償費としましては、地産地消と八郎湖再生等の地域活性化に関する研究について講師・アドバイザー謝礼と、それから活性化推進協議会・部会研修会、それから品質管理・栽培技術研修、それからIT活用の研修、それから地産地消のための研修、特産品開発等の講師謝礼をみてございます。

旅費につきましては、活性化推進協議会委員および運営企画部会、活性化部会、資源活用部会の部会委員の費用弁償、それから同部におけるマーケティング活動や産地間交流構築のための関係旅費を計上しております。

また、潟上ブランドの特産品開発のためのグループを5グループ程度設立し、先進地視察および指導講師の招へいのための予算計上をしております。

委託料でございますけれども、委託料につきましては、県立大学との連携事業委託料を計上しまして、21年度に引き続き地域再生計画の推進を目指し、活性化推進協議会、

地産地消および食育の推進強化、地域農林水産物を活用した産業強化等への指導・助言、それから潟上ブランドづくりによる地域産業の育成をお願いしてございます。設計等委託料につきましては、農山漁村活性化施設整備工事管理および広場・駐車場および旧レストラン解体工事等の実施設計および工事管理業務を計上してございます。

また、農山漁村活性化施設運営システム構築委託については、直売所における販売状況を出荷者にメール配信するなどポスシステムおよび栽培記録、農薬記録を管理するトレーサビリティシステムを構築する予定でございます。

県立大学と協力のもと、地元農商工連携による潟上ブランドを創出し、栽培記録、農薬記録等を管理するトレーサビリティシステムによる安心・安全な食の供給体制を整備することにより、学校給食への地元産食材の提供の促進が図られると思っております。

また、地産地消を通じた食の大切さを醸成する食育の推進や、新しいビジネス機会の創出、人材の育成が図られると考えてございます。

次に、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業や地域活性化事業等における所管には、専門の技術職員がいないのではないかと考えてございますけれども、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業等の経済対策事業については、活性化推進室で補助金申請等の取りまとめ、および事業の進行管理を行うとともに、財政課においては予算管理を行います。また、都市建設課技術管理班において積算および技術管理等を行うこととしてございますので、これを連携しながら事業推進に当たりたいと考えております。

地域再生事業につきましては、観光、レクリエーションの振興として新市建設計画に位置づけられており、総合発展計画におきましても活力と魅力あふれる農林水産業の振興における地産地消の推進に位置づけられております。また、平成20年の市民の代表からなる鞍掛沼公園活性化検討委員会からの提言に基づくこの事業実施となつてございまして、推進していきたいと考えてございます。

それから都市公園内における施設整備でございましてけれども、今後、都市公園担当課の方と十分また協議しながら進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解を賜りたいと思っております。

以上です。

○議長（千田正英） 19番、再質疑ありますか。

○19番（佐々木嘉一） お願いですが、予算は款項目別に、目的別に予算書があがっておりますが、今お話しのとおり事業の中身を見ますと盛りだくさんでございまして。そう

いう点からしますと、事業費予算、事業予算というものもありまして、そういう資料を出していただければ非常にわかりやすいのではないのかなというような感じをしております。これは大きな事業、予算1節から28節までばらまいて内容がよく飲み込めないということがありますので、そういう資料については今後作成していただけないものでしょうか、お願いします。

○議長（千田正英） 資料の件については、石川市長。

○市長（石川光男） 19番さんの要望というのは、ごもっともなことだと思いますので、今後そのように対処したいと思います。

○議長（千田正英） これをもって19番佐々木嘉一議員の質疑を終わります。

14番藤原典男議員の質疑を許します。14番藤原典男議員。

○14番（藤原典男） おはようございます。14番藤原典男でございます。

通告に従いまして総括質疑を3点にわたり行いたいと思いますので、宜しく願い致します。

議案第3号、潟上市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例（案）についてです。

「簡易水道事業」という文言を削除することにより、今後の補助金の見直しがどのようにかかわっていくのか伺いたいと思います。

次は、議案第6号、平成21年度潟上市一般会計補正予算（第7号）（案）について伺います。

この中の5目である国民健康保険費の特別会計繰り出しの件については、精査した結果、精算によるものとわかりましたので、この点については質問を省きたいと思います。

予算（案）の歳出では、3款民生費の中の社会福祉費2目障害者福祉費の事業運営安定化事業助成金の減となった要因というものは何なのか、伺いたいと思います。

次に、議案第21号、平成22年度一般会計予算（案）について伺います。

市長施政方針別冊によると、一般会計の主要施策では、特定健診は22年度から新たに心電図と貧血検査を加え、早朝健診と同時実施することにより受診率のアップを図るとあります。また、胃カメラ健診への5,000円の補助も行うとしており、市民の健康を守る上で積極的な政策と思いますが、根拠となる目標受診率および受診率アップのための具体的進め方を伺いたいと思います。

宜しく願い致します。

○議長（千田正英） 当局より答弁を求めます。澤井水道局長。

○水道局長（澤井 昭） おはようございます。

それでは私の方から、14番藤原典男議員の総括質疑の1つめの潟上市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例（案）についての「簡易水道」という文言を削除することにより、今後の補助金の見直しがどのようにかかわっていくのかという質問についてお答え致します。

平成19年の6月に簡易水道事業に対する国の国庫補助制度の見直しが行われまして、「平成21年度末までに簡易水道の統合計画書を提出し、厚生労働省が承認した場合に限り、平成28年度までは現行の補助制度により対応する」というものでありまして、承認された場合は統合前の簡易水道施設および統合と合わせて未普及地域に新設する施設も対象とするものでございます。

去る2月の8日に同計画書を県に提出したところでございます。

補助率は、市町村の財政力指数によりまして違うわけでございまして、財政力指数が0.3未満の場合は対象事業費の3分の1ということでございます。本市の場合は0.3以上でありますので対象事業の4分の1となっております。

先般配付致しました潟上市水道事業整備計画概要書で示したとおり、整備計画期間は平成22年度から28年度と致しまして、この補助制度の適用期間を設定してございます。

また、全体事業費でございますけれども、これが約27億4,200万円でございます、財源内訳は国庫補助金が対象事業費の4分の1、約3億1,600万円、残りは一般財源、これは起債でございます、充当率が100%になってございます。これが24億2,600万円として試算してございます。

以上でございます。

○議長（千田正英） 山平社会福祉課長。

○社会福祉課長（山平重男） おはようございます。

14番藤原典男議員の総括質疑の2つめの平成21年度潟上市一般会計補正予算（第7号）（案）についての障害者福祉費の事業運営安定化事業助成金の減の当初見込みと違う要因についての質問にお答え致します。

初めに、この事業についての概要を説明致します。

この事業は、障害者自立支援法の円滑な施行を図るため、法の施行に伴う激変緩和や新たな事業に直ちに移行できない事業者の支援等を盛り込んだ各種事業の中の一事業で

あり、平成18年度から平成20年度までの特別対策として実施されてきましたが、既存事業の拡充や新たな事業を盛り込み、平成23年度まで延長して実施されることとなった事業で、補助率は4分の3です。このため、この事業に要する今年度予算については、6月に前年度並みとして補正措置をしております。

事業内容は、法の施行に伴い、従前の月払い方式から日払い方式の導入に伴う従前の報酬額の90%を下回った場合に、90%までの差額分を事業者に助成をするというものです。この助成金の請求については、事業者が国保連合会を通して市に請求されます。

今回の減額補正の主な要因については、利用人数についての極端な減少がないことから報酬額の改定が4月にあり、5.1%が増額されたのに伴い、従前報酬額の90%まで上昇したためと考えられます。

以上です。

○議長（千田正英） 伊藤健康推進課長。

○健康推進課長（伊藤正吉） 14番藤原典男議員の総括質疑の3つめの議案第21号、平成22年度一般会計予算（案）についての特定健診についての質問にお答え致します。

最初に、特定健診に心電図検査・貧血検査を加えた理由についてお答え致します。

特定健診については受診率が低く、平成20年度は20.8%であったことから、受診率の向上と受診者にとって魅力ある健診とするため、希望者全員に心電図検査・貧血検査が実施できるように致しました。

心電図検査・貧血検査については、特定健診が始まった20年度から実施を希望する声が多く、また、医師の立場からも「生活習慣病の早期発見に役立つ」と言われてきた経緯もあり、受診者にとって有効であると思われれます。今年度から、実施につきましては集団健診の際、特定健診、がん検診と同時に実施することに致します。

次に、胃カメラ健診への5,000円補助についてでございますが、胃がん検診の受診率は20年度21.4%でございました。国が目指す、がん検診受診率50%には遠く及ばない現状にあります。また、胃がんによる死亡者は、潟上市においても全がん死亡中1位を占めており、胃がん対策は、がん対策の全体の中でも対応が急がれるところでございます。

一方、これまでの潟上市の胃がん検診は集団検診による胃部エックス線撮影でありましたが、「バリウムが飲めない」、「バリウムによる便通不良などの胃腸症状」から集団健診を受けない人が少しずつ増えてきており、また、医療機関で胃カメラによる健診を受ける人が徐々に増えていたことなどから、市民が受けやすい環境を整えることが必要

であるということで、胃カメラ健診を受ける方に5,000円を補助し、実施することに致しました。

実施については、潟上市内の医療機関の協力を得て実施する予定でございます。

○議長（千田正英） 14番藤原典男議員、再質疑ありますか。藤原典男議員。

○14番（藤原典男） 水道事業についてなんですけれども、この簡易水道事業というのを統一しなければ今後補助が来ないということの理解でよろしいでしょうか。

それから議案第21号なんですけれども、胃カメラの導入というのは非常にいいことだと思うんですけれども、希望した方にとということで、どれくらいの方を予定しているのか、そこら辺についても伺いたいと思います。

○議長（千田正英） 澤井水道局長。

○水道局長（澤井 昭） 14番藤原典男議員の再質問にお答えしたいと思います。

ただいま再質問ありましたとおり、今後は簡易水道に対する補助金というのが特別な、あるいは離島、あるいは上水道との距離が10キロ以上離れた、そういう立地上の関係でどうしても存続しなければならない、そういう簡易水道は別と致しまして、通常の簡易水道につきましては補助の対象にならないということになります。こうした補助金の見直しの背景というのは、既に国全体の水道普及率が97%以上を超えていると、そういう現状でございまして、今後は国として簡易水道整備に対する補助はもう仕上げの時期に来ていると、そういうとらえ方だと考えております。

以上です。

○議長（千田正英） 伊藤健康推進課長。

○健康推進課長（伊藤正吉） 胃カメラの健診の助成は200人を予定してございます。

○議長（千田正英） 14番藤原典男議員、再々質疑ありますか。14番藤原典男議員。

○14番（藤原典男） 終わります。どうもありがとうございます。

○議長（千田正英） これをもって14番藤原典男議員の質疑を終わります。

15番西村 武議員の質疑を許します。15番西村 武議員。

○15番（西村 武） 通告しておりましたので、総括質疑をさせていただきます。

議案第21号、平成22年度潟上市一般会計予算（案）について。

内容と致しましては、8款土木費4項都市計画費2目公園費13節委託料、施設保守管理委託料について。

13節委託料、施設管理委託料は6,840万9,000円でございますけれども、これは指定管

理委託料と思うが、現在、指定管理者はむつみ造園土木で、指定管理者を募るときにそれぞれより管理者となるための計画書などが提出され、その一部に、鞍掛沼公園は施設案内の民間ガイドを養成する、また、飯田川公園には廃材を利用した木工教室を開催すると産業建設常任委員会での説明がございましてそのように伺っておりますが、現在どのように進行しているものかを伺います。

○議長（千田正英） 当局の答弁を求めます。藤原都市建設課長。

○都市建設課長（藤原貞雄） 15番西村議員の総括質疑の平成22年度潟上市一般会計予算（案）についての公園費の施設保守管理委託料についての質問にお答え致します。

公園費委託料の予算額6,840万9,000円の内訳は、都市公園等6施設の指定管理委託料が6,120万円のほか、各種公園・広場などの管理委託料であります。

ご質問の指定管理者の事業計画にありました施設案内の民間ガイド、廃材利用の木工教室は、平成21年度は実施されておられません。指定管理者とは5年期間での委託契約を締結しておりますので、期間内に予定された事業が展開される見込みとなっております。

指定管理者であるむつみ造園土木株式会社との協議では、「平成21年度は指定管理初年度であることから市の引き継ぎ事項を重視した管理を基本に13事業を実施しました。22年度からは独自のイベント、事業を展開し、民間カラーを出しながら新たな集客に努めます」との意向があり、先ほどの2つの事業計画についても「平成22年度以降の計画として、民間ガイドについては公園施設ボランティア『パークレンジャー』の募集、それから養成、廃材利用の木工教室については『エコ体験』の名称で実施してまいります」との説明でありました。

参考までに、21年度において鞍掛沼公園で実施した自主事業について紹介しますと、ちんどん屋イベント、フリーマーケット、ネイガーショー、ライディングバイクスタントショーほか9行事を行っております。

以上でございます。

○議長（千田正英） 15番西村 武議員、再質疑ありますか。15番。

○15番（西村 武） ただいま課長の説明でよくわかりましたけれども、この民間ガイド養成とか、あるいは木工教室の開催というのは、この計画どおり22年度以降に行うということですので、これは市民も大変期待しておるところでございますので、ぜひとも計画どおり実施をしていただきたいと思います。

それで、あとですね、このただいま課長の方から21年度で実施されましたそういう事

業等につきまして報告がございましたけれども、この6施設、6,249万円ですか、この協定書に基づきましてこの事業計画、事業報告、あるいは決算報告等、これは当然行うものと思いますので、それはいつごろどのようにして行うものか、その点のところも伺いたいと思います。

○議長（千田正英） 藤原都市建設課長。

○都市建設課長（藤原貞雄） 15番西村議員の再質問にお答え致します。

指定管理者との契約につきましては、基本協定、それから詳細にわたる管理業務仕様書というもので詳細にわたって取り交わしております。その中で規定されておりますが、その年度の事業計画につきましては前年の3月の20日まで、収支決算、それからその年で行われた実績等につきましては翌年の4月30日までと規定されてございます。

○議長（千田正英） 15番西村 武議員、再々質疑ありますか。

○15番（西村 武） それで、当然これは議会の方にも報告があるものと思いますけれども、その時期もこの頃ということに理解してよろしいでしょうか。

○議長（千田正英） 藤原都市建設課長。

○都市建設課長（藤原貞雄） 再々質問にお答え致します。

決算議会ということになろうかと思えます。

○議長（千田正英） これをもって15番西村 武議員の質疑を終わります。

これで総括質疑を終わります。

【日程第3、提出議案委員会付託】

○議長（千田正英） 日程第3、これより提出議案の常任委員会付託を行います。

議案第1号から議案第36号までの36件については、3月2日の本会議で配布致しました委員会付託表のとおり、それぞれ所管の各常任委員会に審査を付託致します。

以上で、本日の日程は全部終了しました。よって、本日はこれで散会します。

なお、3月19日金曜日、午前10時より本会議を再開しますので、ご参集願います。

どうも御苦労さまでした。

午前10時39分 散会

